

# 「スラムダンクに学ぶ」

⑪

## 辻秀一さん(スポーツ)の独自論

チームをさらに最高の心エネルギーを高めるためには、心理められない人は、いつも向こう次第で自分の心を決めようとしている。だから、もらったけど安いものだったら文句を言う。くれなかつたらまた文句を言う。それは素晴らしい法則なんですけど、これも動物は持っていないですね。この法則は人間だけなんです。

みんなはプレゼントをもらったら、うれし。でも、人にプレゼントをあげようとしたら、あげようと考えていたり、あげることをうれしと感じる遺伝子がある。

わかりますか？ もらったらうれしいですけど、でも、もらっているのは自分で決められないんですよ。もすけどね、マイケル・ジョーダンが最も大切にしていることです。「リスベクト」って言ってま

ジョーダンはね。相手を敬うと、相手もいいけど、実は敬っている自分が一番いいんです。相手を敬うこと、思いやりを持つことは、相手のためじゃなく

## 尊敬、感謝、応援を

なくて自分のためにやるんですよ、実は。相手の足を引っ張ろうといくら考えても、あんまり自分にとっていい気持ちにはならないですからね。

2番目は応援すること。応援さるののもうれしいけど、人間は人を応援しているだけで元気になるんです。だから、元気のいい人って、いつも人を応援しているんですよ？ これを超大事にしてるのがタイカ・ウツです。北島康介も大事にしている。人をどんどん応援することによって、自分のエネルギーが増すってことを知っている。

たとえば、ゴルフをやっている時、ほかの人が1打のパーティー・パットをやっている時にどういった心持ちでいるのか。「外せ、外せ」とマイナスのパ

がんばってほしいなあってどんな人にも思っていたら、別に自分はいつも元気なんですよ。人のことをいつも応援している人っていうのは、まず間違いないですよ。自分のことを本心に大事にしてる人ですね。

三つ目は感謝ですね。人は、感謝されてもエネルギーが高まりますけど、感謝しているだけでエネルギーが上がる。「ありがとう」と言ってくれない」と言う前に、「ありがとう」と言えよ」と言っています。

みんなが自分のためにありがとうって言うてるチームは、絶対に強いんです。韓国のサッカーチームを率いて、ワールドカップでベスト4に入ったヒディング監督は、これを徹底しています。みんながありがとうと言えない組織は、絶対に勝つことは難しいというの

敵は内部にありってチーム、たくさんありますよ。敵と戦う前に、内部にありなですよ、みんな。「あいづ嫌いだ」とか、みんな言っているんですよ。

自分のために、本当にこの3つを実践していない。リスベクト(敬う)とアブリシエイト(感謝)とチア(応援)ですね、英語で言うと、結局、本当に自分のことなんか、大事にしていないんですよ。適当なんですよ。言い訳しながら、人のせいにながら、やっていると。本当に自分のことを大事にしている人は、やるんですよ。結果出ているから。



「人を敬い、感謝し、応援することはすべて自分のため」と話す辻さん

ワイを送り込んでいたら、入った時にガツカリして損してしまうんです。

がっかりして損するのは誰ですか？ 自分なんです。わざわざ自分でがっかりしている。外せと思ってる外れないんですよ。外本的に。入っちゃったから。そして「入っちゃって」って、またその人のせいにするんですよ、自分のがっかり

みんなが自分のためにありがとうって言うてるチームは、絶対に強いんです。韓国のサッカーチームを率いて、ワールドカップでベスト4に入ったヒディング監督は、これを徹底しています。みんながありがとうと言えない組織は、絶対に勝つことは難しいというの

これはどんなに言っても、やらないとだめなんです。バスケットを通してやることが大切なんです。成功の反対は失敗じゃなく、成功の反対はやらないことです。やらなかったら、なにも生まれないですよ。